

「さあ、みんなで、考えよう」

新型コロナ差別を許さない柘植地域であるために

～ 11月23日開催の第1回県民人権講座から考える ～

新型コロナ新規感染者数が増加傾向にある状況を踏まえ、三重県人権センターにおいて、反差別・人権研究所みえ(ヒューリアみえ)の松村元樹さんから新型コロナ差別に関する講演がありました。講演の中で、国の「新型コロナウイルス感染者対策分科会 偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ」第3回会議の報告が内閣官房ホームページ内に掲載されていることが紹介されました。このワーキンググループの委員の一人の三重県知事・鈴木英敬さんが「偏見・差別の実態と取組等に関する調査結果」のなかで全国の新型コロナ差別の実態(事例)を報告しています。これらの実態にあるような差別や偏見が起きない柘植地域になるために、誰にも相談できず思い悩む人が柘植地域から出ないように、まずは全国の差別の実態を事例報告から学び、柘植地域住民のひとりひとりが自分事としてできること、安心して暮らせる柘植地域づくりを考えたいと思います。

内閣官房ホームページ内「偏見・差別の実態と取組等に関する調査結果」(鈴木英敬さん報告)より抜粋

偏見・差別の実態 ～感染者・濃厚接触者やその家族等に対する事例～(抜粋)

- 住民から、「新型コロナウイルスに感染したとする貼紙が見つかった」との通報があった。貼紙には3人の氏名と年齢が記載され、同市の民家の壁などで複数枚見つかった。
- 人権センターに「コロナにより入院したことから、会社から雇い止めを受け、退職することになった」といった相談があった。
- 市内のレストランにおいて、感染者が在籍する大学と同じ大学の「関係者 来店遠慮」の貼紙が貼られていた。翌日、市から「人権への配慮」を店側に要請し、撤去。

偏見・差別の実態 ～医療従事者に対する事例～(抜粋)

- 総合病院において、感染者の濃厚接触者ではないスタッフが、子どもの学童保育や保育所の受け入れを断られたり、配偶者が職場から出勤停止を命じられたりした。
- 重点医療機関職員スタッフの子どもが、同級生に「お前のお母さん、病院で働いてるんだろ。菌持ってくるんじゃない」と言われた。
- 新型コロナウイルス感染症による県内病院への影響調査の中で、病院職員が、店舗の予約拒否、保育園卒園式への出席拒否、タクシーの乗車拒否、葬儀参列拒否にあった。

偏見・差別の実態 ～社会福祉施設、事業者、エッセンシャルワーカー等に対する事例～(抜粋)

- SNSに「感染源の店」「コロナ患者が働いている」「コロナ患者が立ち寄った店」などの書き込みがされたという相談があった。
- 感染拡大地域に仕事で往来する運送業（エッセンシャルワーカー）の保護者に対し、学校長が、児童・生徒の自宅待機を要請した。

偏見・差別の実態 ～県外在住者等に対する事例～(抜粋)

- 県内のアパートに戻ったところ、玄関ドアに生卵が投げつけられ、殻が散らばっていたうえ、郵便受けの中に生卵がつぶして流し込んであった。コロナに関係する嫌がらせだと考えられる。
- 感染流行地に居住する相談者が、当該市在住の両親宅に帰省しようとした際に、両親が利用している複数の介護保険事業所から「帰省したらサービスを中止する」旨の発言を受けた。
- 『夫の職場が感染者が確認された地域にある』ということを理由に差別を受け、仕事をクビになった。

偏見・差別の実態 ～インターネット上の不適切な書き込みの事例～(抜粋)

- SNS上で、感染者が発生したスポーツ教室の参加者が通う学校名や写真、複数の感染者が発生したという内容が拡散されているという電話連絡があった。
- 感染者とは全く関係のない方が感染者であるという誤った情報がインターネット上の掲示板等で拡散され、その影響によりその方が営む商店への来客が大幅に落ち込んだ。

偏見・差別の実態 ～その他特筆すべき事例～(抜粋)

- 新型コロナウイルス感染症が流行している県への家族旅行後、感染症の症状がないにもかかわらず、近所から感染者と決めつけられたり、子どもが通う学校の保護者から子どもを通学させていることに関する苦情を受けたり、職場(介護職)からは2週間仕事を休むよう言われた。
- 新型コロナウイルスに関連して外国人に対し差別的な貼り紙をした店舗について、県と市にメールで相談が寄せられている。

12月、1月の講演会や研修会の案内

- 12月5日(土) 2020人権のつどい (13:30～) 青山ホール
講師[大阪市立大池中学校PTA おやじバンド 古川正博さん]
- 12月6日(日) 人権を考える市民の集い2020 (13:30～) 伊賀市文化会館
「誰もがもっている多様な性：LGBTをとおして考える」
講師(風間孝さん) [中京大学] トークゲスト(加納克典さん、嶋田全宏さん)
- 12月8日(火) ライトピアおおやまだ人権大学 (19:30～) ライトピアおおやまだ
『人権の世界』をつくる(奥田均さん)[近畿大学]
- 12月11日(金) 津地域人権啓発事業 ミニ人権大学講座 (13:30～15:30) 三重県津庁舎
「高齢者の人権(虐待と貧困) (磯和勅子さん) [定員40人]
- 12月14日(月) 青山文化センター人権・解放講座 (19:30～21:00) 青山文化センター
「社会の狭間に生きる ～多様性社会へ向けて私たちができること」(三木幸美さん)
- 12月17日(木) 男女一緒に気づいて広がる発見講座「ベトナム編」(14:00～16:00) ハイトピア伊賀
「住んで発見! ベトナムの暮らし」(吉田佳純さん)[日本語指導コーディネーター]
- 12月18日(金) 2020部落解放・人権大学講座 (19:30～21:00) ゆめぼりすセンター
「心の窓を少し開いて ～好感・共感・親近感が人権力を育む」(明石一朗さん)[関西外国語大学]
- 1月26日(火) 上野公民館講座悠々セミナー第3回 (13:30～15:00) ハイトピア伊賀
「女性を取りまく社会状況について」(大橋久和さん)[伊賀解放創世塾]